

令和5年度牧之原市当初予算の概要について

1 当初予算の総額

(単位：千円、%)

会 計 名	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	前年度比較			
			増減額	伸率		
一 般 会 計	22,730,000	20,840,000	1,890,000	9.1		
特 別 会 計	10,251,368	10,173,237	78,131	0.8		
国民健康保険 特別会計	5,112,892	5,067,621	45,271	0.9		
後期高齢者医療 特別会計	578,370	562,466	15,904	2.8		
介護保険特別会計	4,533,601	4,479,506	54,095	1.2		
土地取得特別会計	15,683	52,117	△36,434	△69.9		
農業集落排水事業 特別会計	10,822	11,527	△705	△6.1		
小 計	32,981,368	31,013,237	1,968,131	6.3		
水道事業 会 計	収 益 的	収入	1,030,156	1,033,325	△3,169	△0.3
		支出	1,010,241	1,006,670	3,571	0.4
	資 本 的	収入	105,558	126,190	△20,632	△16.3
		支出	417,858	416,578	1,280	0.3
合 計	34,409,467	32,436,485	1,972,982	6.1		

2 当初予算の概要

(1) 総括

ア 一般会計

- ・ 令和5年度の予算は、前年度比18億9,000万円、率にして9.1%の増の227億3,000万円と2年連続で200億円を上回り、過去最大の予算額となった。
- ・ 第3次総合計画の初年度となるため、基本構想における将来都市像などの実現に向け、また、人口減少や少子高齢化などの喫緊の課題に対応すべき5つの重点戦略・プロジェクトを積極的に推進する。
- ・ 具体的には、レベル2の津波被害想定に対応した防潮堤や放射線防護対策のエアシェルター、体育館の駐車場を兼ねた防災広場の整備など、市民の安心安全を図る予算を確保した。
- ・ 賑わいの創出や雇用の場の確保、移住・定住人口の拡大等に資する新たな拠点づくりに向けた高台開発事業（土地区画整理組合への補助金等）、若者に人

気があるサーフィン競技やスケートボード競技を核とした沿岸部の活性化、新婚世帯や子育て世帯に移住・定住を促す施策の継続など魅力を高める事業にも予算配分をした。

- ・ ゼロカーボンの実現に向けた取組では、家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助金の継続をはじめ、省エネ住宅普及推進事業補助金の創設、オーガニックまきのはらの推進（バイオ炭の実証実験、早生樹導入支援、複合経営支援、化学肥料の低減に向けた茶園の土壌診断・分析及び微生物検査支援の実施）、ZEB Ready 認証を目指す多目的体育館の建設、コミュニティ防災センター（相良、静波）、さがら子生れ温泉会館、静波体育館及び片浜体育館の照明器具のLED化などを実施する。
- ・ 待機児童を出さない保育園・認定こども園、放課後児童クラブの運営、妊産婦通院等支援、こども医療費や妊産婦特定疾病医療費、不妊治療費の助成、子育て支援センターの移転整備、子育て世帯が利用したくなる公園改修に向けた取組も引き続き予算化し、加えて、小学校入学祝金支給事業や出産・子育て応援給付金事業（R4の補正から）を創設するなど、日本一女性にやさしいまちを目指した。
- ・ 行政手続のオンライン化を進めるとともに、基幹システムの標準化や AI・RPA 等のデジタルツールの活用により、業務改革や DX の推進も引き続き予算化した。
- ・ さらに、安全・安心で子どもたちの学び・育つ場所として望ましい教育環境を整備する学校再編（義務教育学校）事業や再編後の貴重な資源である学校跡地の利活用について検討する事業も予算措置をした。

イ 特別会計

- ・ 国民健康保険特別会計は、納付金の増加と医療費予測に基づく予算である。
- ・ 後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込等に基づく予算である。
- ・ 介護保険特別会計は、保険給付費及び地域支援事業費の見込等に基づく予算である。
- ・ 土地取得特別会計は、防潮堤用地の先行取得完了により減額となる。
- ・ 農業集落排水事業特別会計は、平成6年度債の償還完了により減額となる。

ウ 公営企業会計

- ・ 水道事業会計は、安全で良質な水の安定供給を目指し、老朽化した水道管の更新を図る予算である。

(2) 歳入（一般会計）

- ・ 市税は、前年度を大幅に上回る 7,790,206 千円（前年度比 8.1%増）の計上をした。新型コロナウイルス感染症の影響が縮小傾向にあることや企業収益の持ち直しから市民税は 432,870 千円の増額となり、前年度比 17.9%の伸びとした。固定資産税についても、大手企業などの設備投資の増加による償却資産の伸びにより、113,142 千円（前年度比 2.6%増）の増収を見込んだ。
- ・ 地方譲与税や各種交付金は、長引く物価高騰の影響から総じて減額を見込んだが、地方消費税交付金については反対に物価高騰を考慮し 159,000 千円増の 1,169,000 千円とした。
- ・ 普通交付税は、市税等の増収はあるが、地方財政計画における地方交付税総額は前年度を上回る額が確保されていることを加味し前年度同額の 2,550,000 千

円を計上した。

- ・ 県支出金の 287,494 千円（前年度比 17.0%増）の増額は、空港隣接地域賑わい空間創生事業や原子力災害対策事業、ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業、工業用地安定供給促進事業などに加え、新規の社会福祉施設整備事業などによるものである。
- ・ 諸収入は、新規の新築建築物 ZEB 化支援事業補助金の計上により 291,022 千円（前年度比 57.0%増）の大幅な伸びとなった。
- ・ 市債については、ZEB Ready 取得を目指す多目的体育館や道の駅(仮)さかべの整備などから 553,600 千円（前年度比 46.9%増）の大幅な増額となったが、3年連続で 20 億円を下回り 1,733,300 千円になった。
- ・ また、歳入不足を補うために財政調整基金 1,300,000 千円、公債費の増加に対応するため、減債基金 200,000 千円の繰入金を計上した。

(3) 歳出（一般会計）

令和 5 年度に実施する事業を総合計画における 7 つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（予算参考資料の「令和 5 年度 主要事業等」参照）

◎印は、第 3 次総合計画における重点戦略・プロジェクトを示し、新型コロナウイルス関連については●印となっている。

ア 防災

農村地域防災減災事業 市内 83 のため池のうち防災重点ため池の指定を受けた 65 池について、県と協力しながら大規模地震に備えた耐震化整備を進める。	1,955 万円
津波高潮防災ステーション更新事業 津波高潮防災ステーションが設置から 15 年以上経過し、機器類に異常が発生しているため、高機能な機器類に更新する。	7,208 万円
地頭方漁港海岸防潮堤整備事業 レベル 1 津波から生命・財産等を守るため、地頭方漁港海岸の海岸保全施設の胸壁整備を実施する。	4,964 万円
◎海岸防潮堤（レベル 2）整備事業〈新規〉 想定される最大規模の地震津波による被害を軽減するため、細江地区の L 2 津波堤防の整備を実施する。	1,000 万円
プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業 市民の生命財産を守るため、昭和 56 年 5 月以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するとともに、避難経路の寸断を防ぐため、倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去及び改善事業を推進する。	2,317 万円
静岡地域消防救急広域化事業 広域構成市町のスケールメリットを生かした災害対応力の充実強化やより一層の住民サービスの向上を図る。	6 億 8,685 万円
◎勝間田消防館建設事業 消防団組織等再編計画及び公共施設マネジメントに基づき勝間田消防館（5 分団）の整備を進める。	8,240 万円
防災コミュニティセンター整備補助事業 自主防災会が設置する防災コミュニティセンターの整備に補助を行う。（鬼女新田）	3,000 万円

<p>◎放射線防護施設整備事業〈新規〉 原子力災害時に長距離避難による健康リスクの高いP A Z圏内の要配慮者等の一時避難施設として、多目的体育館に放射線防護対策（エアシェルター整備）を図る。</p>	2億2,400万円
--	-----------

イ 健康福祉

<p>高齢者福祉施設空調設備改修事業〈新規〉 相良いきいきセンター及び生きがいガーデンこにたの老朽化した空調設備の改修工事を実施する。</p>	1,260万円
<p>静和会館大規模改修事業 地域住民の交流拠点となる隣保館の老朽化のため、防水工事等の改修を実施する。</p>	3,317万円
<p>放課後児童クラブ運営事業 仕事等により保護者が昼間家庭にいない小学生（1～6年生）に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の仕事と子育ての両立を推進する。</p>	1億2,845万円
<p>◎小学校入学祝金支給事業〈新規〉 小学校入学時における経済的な負担の軽減及び次代を担う子どもの小学校入学を祝い、健やかな成長を祝うため、児童一人当たり3万円の祝金を支給する。</p>	931万円
<p>こども医療費助成事業 高校生以下の子どもに係る医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成を図る。</p>	1億8,407万円
<p>◎子育て支援センター相良等移設改修事業 子育て支援センター相良と相良児童館機能を相良市街地へ移転整備し、施設の集約化と利便性の向上を図る。</p>	215万円
<p>◎子どもの居場所支援事業〈新規〉 家庭や学校に居場所がない学齢期の子どもに対して居場所を整備するとともに、生活習慣の形成や学習サポート、進路等の相談、子ども・家庭の状況をアセスメントし、関係機関への繋ぎを行う等の支援を実施する。</p>	470万円
<p>認定こども園整備事業〈新規〉 保育園等施設マネジメント計画に基づき、令和6年度から地頭方保育園と地頭方幼稚園を統合し、こども園とするため整備を行う。また、相良こども園を自園調理とするため改修を行う。</p>	319万円
<p>インフルエンザワクチン接種事業〈新規〉 小児の集団感染を防ぐため、インフルエンザ予防接種（任意）に対し、接種費用の一部を助成する。</p>	276万円
<p>●新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための市民啓発を行い、市民に対するワクチン接種体制を整備し集団及び個別接種を実施する。</p>	1億9,445万円
<p>●感染拡大防止検査費用助成事業 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、高齢者施設等に新たに入所する者が自費により受検する抗原定量検査等の費用、及び施設で陽性者が出た場合の利用者や従事者の検査費用の一部を助成する。</p>	135万円

<p>●感染症自宅療養者支援事業 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者が健康状態や重症化兆候を早期に把握できるようにパルスオキシメーターを貸与する。また、有症状者は外出制限があるため、日常生活を営むために必要な食料を提供し自宅療養を支援する。感染症法類型が5類へ変更まで継続する。</p>	190万円
<p>◎出産・子育て応援給付金事業 妊娠期から子育てまで一貫して困りごとの相談に乗る伴走型相談支援の一環として、妊娠から出産までの経済的負担の軽減を図るため、給付金を支給する。</p>	2,128万円
<p>◎不妊治療費助成事業 妊娠出産を望む夫婦の不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、保険適用の3割負担分及び先進医療の10割負担分の不妊治療に係る医療費の一部を助成する。</p>	1,050万円
<p>◎妊産婦通院等支援事業 榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。</p>	660万円
<p>◎妊産婦特定疾病医療費助成事業 妊娠期に起こりやすい疾患の治療費を助成し、妊娠期に医療費など金銭的なことに左右されずに、出産準備に専念できる環境を整備する。</p>	114万円

ウ 教育文化

<p>英語力向上サポート事業 外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により、国際理解教育の推進を図る。併せてイングリッシュキャンプを実施し、英語に親しみながら外国人とのコミュニケーションの向上を図る。</p>	2,250万円
<p>◎ICT活用推進事業 一人一台端末を活用し、個別最適化された授業を展開するとともに、社会情勢の変化に対応したICT教育を推進するため、児童生徒並びに教職員に対する支援の充実を図る。</p>	3,974万円
<p>◎外国人等児童生徒教育支援プレスクール事業〈新規〉 来日間もない外国人等児童生徒が日本語を学ぶ機会を設け、一定の日本語を獲得した後、市内の小中学校に編入することでスムーズな学びが提供できる場を確保する。</p>	999万円
<p>◎未来の子どもたちのための新しい学校づくり事業 「未来の子どもたちの新しい学校づくり計画～学校再編計画～」に基づき、榛原地域・相良地域ごとに、市民の意見を反映した新たな義務教育学校づくりの検討を進め、令和5年度までに、「学校施設整備基本構想・基本計画」を策定する。</p>	998万円
<p>学校施設保全改修事業〈新規〉 学校再編により義務教育学校が開校するまでの間も、既存する小中学校施設の維持管理を行う必要があるため、修繕計画に基づく施設改修を行う。</p>	1,514万円
<p>将棋タイトル戦誘致推進事業 「お～いお茶杯第64期王位戦七番勝負」を誘致し、将棋の振興と地域の活性化を推進する。</p>	943万円

<p>田沼意次侯大河ドラマ誘致推進事業</p> <p>郷土を代表する偉人「田沼意次侯」を題材とした大河ドラマの誘致に取り組むことで、市民の誇りを醸成するとともに、地域の活性化やシティプロモーションを推進する。</p>	20万円
<p>◎榛原図書館機能拡充リノベーション事業</p> <p>図書館機能の拡充のため、榛原図書館の施設環境を改善し、蔵書数の増加や児童コーナーの設置など新しい機能を取り入れたリノベーション工事を実施する。</p>	1億1,241万円
<p>◎魅力あるスポーツ施設整備事業〈新規〉</p> <p>社会体育施設グラウンドの芝生化を推進し、施設利用者の安全性や利便性の向上を図り、魅力あるスポーツ施設を整備する。</p>	50万円
<p>◎多目的体育館整備事業</p> <p>牧之原市スポーツ推進計画に基づき、スポーツに限らず多目的に利用できる機能とともに、原子力災害時には放射線防護機能を有する施設としての体育館を整備する。また、エネルギー消費量50%以上の削減を図るZEB Readyの認証取得に取り組む。</p>	19億7,112万円

エ 産業経済

<p>おかえりプロジェクト推進事業</p> <p>地域の企業と地元就職希望者とのマッチングに取り組み、雇用機会の充実を図るため、新卒者以外の就職希望者も含め、交流事業の開催や企業情報の発信を行う。</p>	37万円
<p>◎オーガニックまきのはら推進事業</p> <p>「荒廃農地の増加抑制及び収益化」と「環境に配慮した農業」を推進するため、バイオ炭の実証実験、早生樹導入支援、複合経営支援、化学肥料の低減に向けた茶園の土壌診断・分析および微生物検査支援を実施し、持続可能な農業の実現を図る。</p>	125万円
<p>農業基盤整備事業</p> <p>農作業の効率化や安定した農業生産及び経営を図るため、施設の改修、更新を行う。(坂部・坂口地区排水路、朝生原地区茶園区画整理、榛南2期地区農道)</p>	2,950万円
<p>細江地区浸水対策事業</p> <p>細江地区の浸水被害の軽減を図るため、老朽化している榛原第1排水機の除塵機を更新し、施設の延命化を進める。</p>	4,733万円
<p>◎がんばる中小企業応援事業</p> <p>中小企業者、小規模企業者からの経営改善、事業承継、創業支援などの様々な相談を一括して受け付ける総合窓口を設置し、課題の解決に向けて支援する。</p>	189万円
<p>◎スタートアップ支援事業</p> <p>商工業の活性化を図るため、商工業や農水産業、観光などの地域資源を活用して新たに事業を展開するスタートアップの掘り起こし、誘致、定着を支援する仕組みを構築する。</p>	400万円
<p>◎創業支援事業</p> <p>新たな事業の創出を促進し、市内産業の振興と市内の空き店舗活用を図るため、市内で起業する者に対して必要な経費を支援する。</p>	450万円

ふるさと納税推進事業 財源確保と市内産業の活性化を目的に、ふるさと納税をした者に市内の特産品を贈る。	2億4,272万円
企業立地促進事業 新規立地する企業に対して、土地取得及び雇用に係る初期投資に対して補助金を交付する。	4,300万円
◎萩間地区工業用地造成事業 県、市、企業の3者により、事業の実現に必要な基本協定を締結し、早期の工事着手を目指す。また、開発区域外で予め整備が必要な公共施設について改修等を実施する。	1億1,951万円
◎サーフィン大会開催支援事業 サーフィンのメッカとして沿岸部にて開催される大会等の開催支援を行う。	170万円
◎まきのはら活性化センター運営事業 観光業をはじめ、異業種との連携による地域資源の観光商品化やイベントの開催等による誘客を図るとともに、地域産業の活性化のための支援を行う。	3,455万円
◎沿岸部活性化事業〈新規〉 静波海岸周辺地域における、大規模人工造波施設「静波サーフスタジアム」の整備を契機として、サーフィンを中心に人を呼び込み、沿岸部の賑わい創出の拠点とするため市有地の有効活用などの活性化を図る。	2,003万円
海水浴場開設及び海岸整備事業 県内最大規模を誇る静波海水浴場と遠浅で白砂が美しいさがらサンビーチの年間の管理・運営を行い、海水浴客の誘客・マリンレジャーの振興や活用により牧之原市を広くPRし、観光業への経済波及効果の拡大、また情報・人的な交流を図る。	5,037万円
温泉会館大規模改修事業 さがら子生れ温泉会館は、泉質の評判もよく老若男女と幅広い方々のふれあいの場となっているため、計画的に施設改修を行う。	2,955万円

オ 都市基盤

道路ストック補修支援事業 道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面などの傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。	1億1,950万円
道路メンテナンス事業 道路橋梁やトンネルなどの点検結果を踏まえ策定する長寿命化計画に基づき行う事業で、劣化、損傷が著しく進行している構造物を計画的かつ予防的に補修を行い、道路交通の安全性を確保する。	6,370万円
空港隣接事業 生活交通利便性向上のための道路改修を行う。(市道八ツ枝毛ヶ谷線、市道並木外之久保線、市道坂部26号線)	2億4,700万円
◎相良牧之原IC北側地域整備事業 牧之原IC北側土地地区画整理事業に伴う施行地区隣接部の市道及び排水路整備を実施する。	1億2,557万円

<p>◎社会資本整備総合交付金事業 地域住民の生活交通利便性向上のための道路改良を行い、市内の交通の円滑化を図る。(市道東中海老江線、市道静波中央幹線、市道須々木大溝線)</p>	1億7,220万円
<p>◎道の駅(仮)さかべ整備事業 広域交流拠点である富士山静岡空港と近接する坂部区において、地域振興施設及び休憩施設、情報発信施設で構成される道の駅の整備を行う。</p>	2億4,720万円
<p>◎細江地区浸水対策事業 準用河川沢垂川の整備計画及び河川改修を含めた総合的な治水対策を実施する。</p>	7,022万円
<p>◎新拠点開発推進事業 東名高速道路相良牧之原IC北側地区における新たな都市拠点の創出に向けて、牧之原市IC北側土地区画整理組合の支援等を実施する。</p>	2億494万円
<p>◎公園整備事業 公園・緑地メンテナンス計画に基づき、小堤山展望台・遊具設置工事、油田の里公園資料館改修工事を実施し、ふるさと体験の森多目的広場及び須々木ふれあい広場のトイレ整備を行う。</p>	5,437万円
<p>公営住宅等ストック総合改善事業 市営住宅ストックの長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図るため、計画的な施設の更新及び予防保全的管理を実施する。(湊団地)</p>	5,753万円

カ 生活環境

<p>◎公共交通推進事業 市民の生活交通を確保するため、JR駅を結ぶ路線バスや自主運行バスや市内の移動のためのデマンド乗合タクシー、バスを運行する。</p>	2億225万円
<p>◎移住・定住促進補助事業 移住・定住を促進するため、市への居住の節目に条件を満たした場合に補助金等を交付する。(子育て家族定住奨励金、新婚新生活支援助成金、しあわせ新婚さん家貸助成金、移住就業支援金)</p>	6,531万円
<p>◎創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助事業 ゼロカーボンシティ推進の取組を各家庭に広げるため、家庭用の創エネ・省エネ・蓄エネの機器等を設置した場合に補助を行う。</p>	250万円
<p>◎省エネ住宅普及推進事業〈新規〉 一般戸建住宅の省エネ診断・省エネ設計・省エネ改修工事に対して補助を行う。</p>	723万円
<p>火葬場検討事業 牧之原市御前崎市広域施設組合、吉田町牧之原市広域施設組合の両組合が運営している火葬施設の老朽化に伴う新たな火葬施設の整備について、地域の方々の理解が得られるよう取り組んでいく。</p>	98万円

キ 市政経営

<p>◎行政サービスICT化推進事業 人口減少や社会情勢の変化に対応し、将来にわたって市が持続的に行政サービスを提供するため、AIやRPA等のデジタルツールを活用し、業務改革やDXの推進を図る。</p>	<p>1, 843万円</p>
<p>◎公民連携まちづくり事業 若者や女性の減少に向けて、公民連携で新しい働き方や暮らし方を創出する。令和5年度は、女性が趣味や特技を活かし、子育てなどと両立した働き方の創出に向けて、他県で実績がある「月3万円ビジネス」の支援に係るプログラムを導入する。</p>	<p>500万円</p>
<p>◎多文化共生推進事業 外国人労働者の増加による相談件数の増加や相談内容の複雑化が見込まれることから、通訳業務を含む相談員の配置など(仮)多文化共生総合相談センターを設置する。</p>	<p>635万円</p>
<p>◎ホストタウン推進事業 全国初のホストタウン登録を受けたサーフィン競技を核とした交流事業を推進することにより、地域の人的・経済的・文化交流を図ることで、オリンピックをきっかけとした沿岸部の賑わいを創出する。</p>	<p>601万円</p>
<p>アウトソーシング（窓口業務・税証明等）事業 市民課における住民票の写し・印鑑登録証明・税証明等の窓口交付・原付等の標識交付、軽自動車税及び償却資産課税情報の入力事務をアウトソーシングし、ワンストップサービスの拡充を図る。</p>	<p>4, 400万円</p>
<p>地頭方公民館解体事業 令和3年度末をもって閉館した地頭方公民館の解体工事を実施する。</p>	<p>4, 044万円</p>